



2020年3月期 業績予想修正

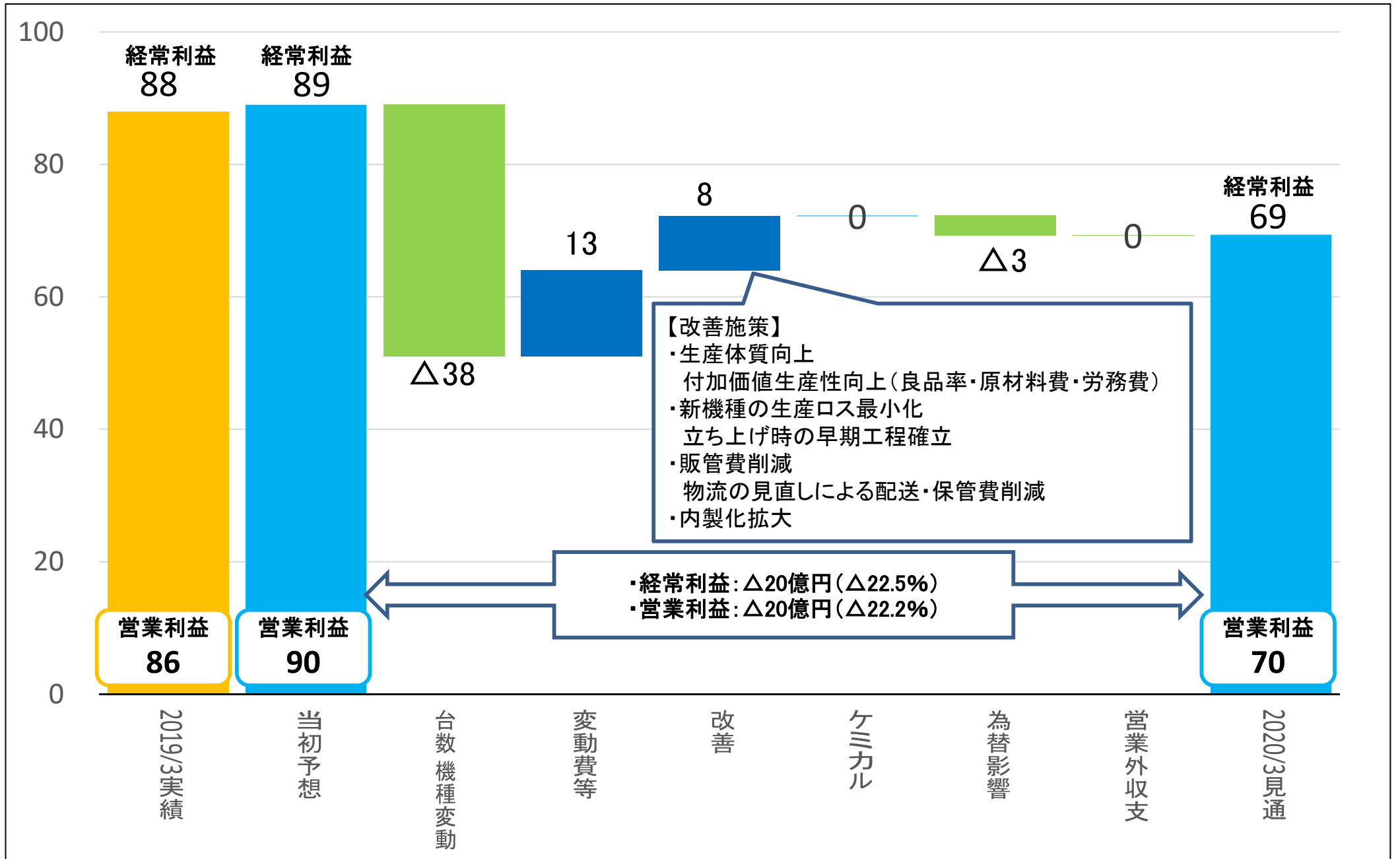
補足資料

2019年10月15日

森六ホールディングス株式会社

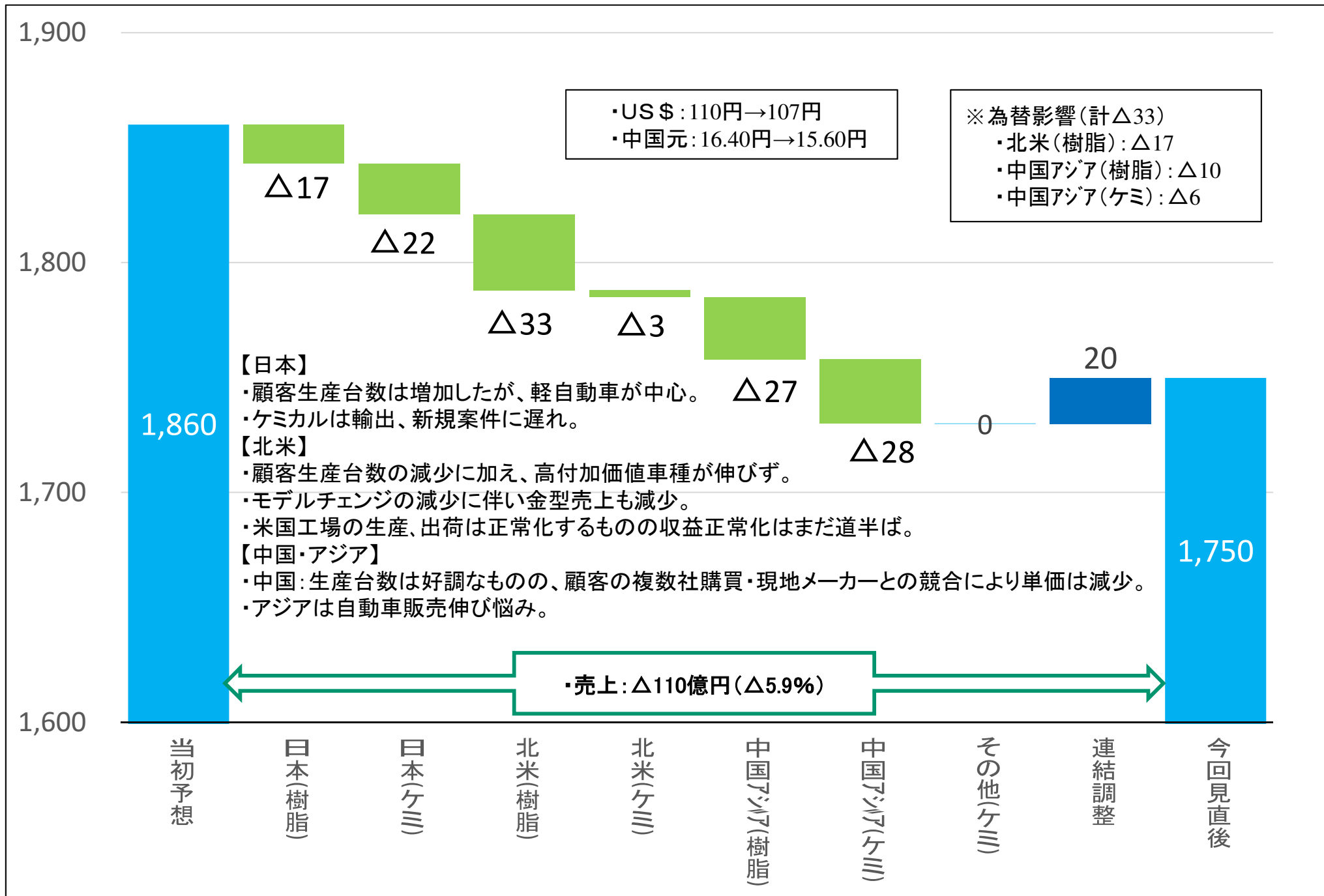
経常利益 増減要因

(億円)



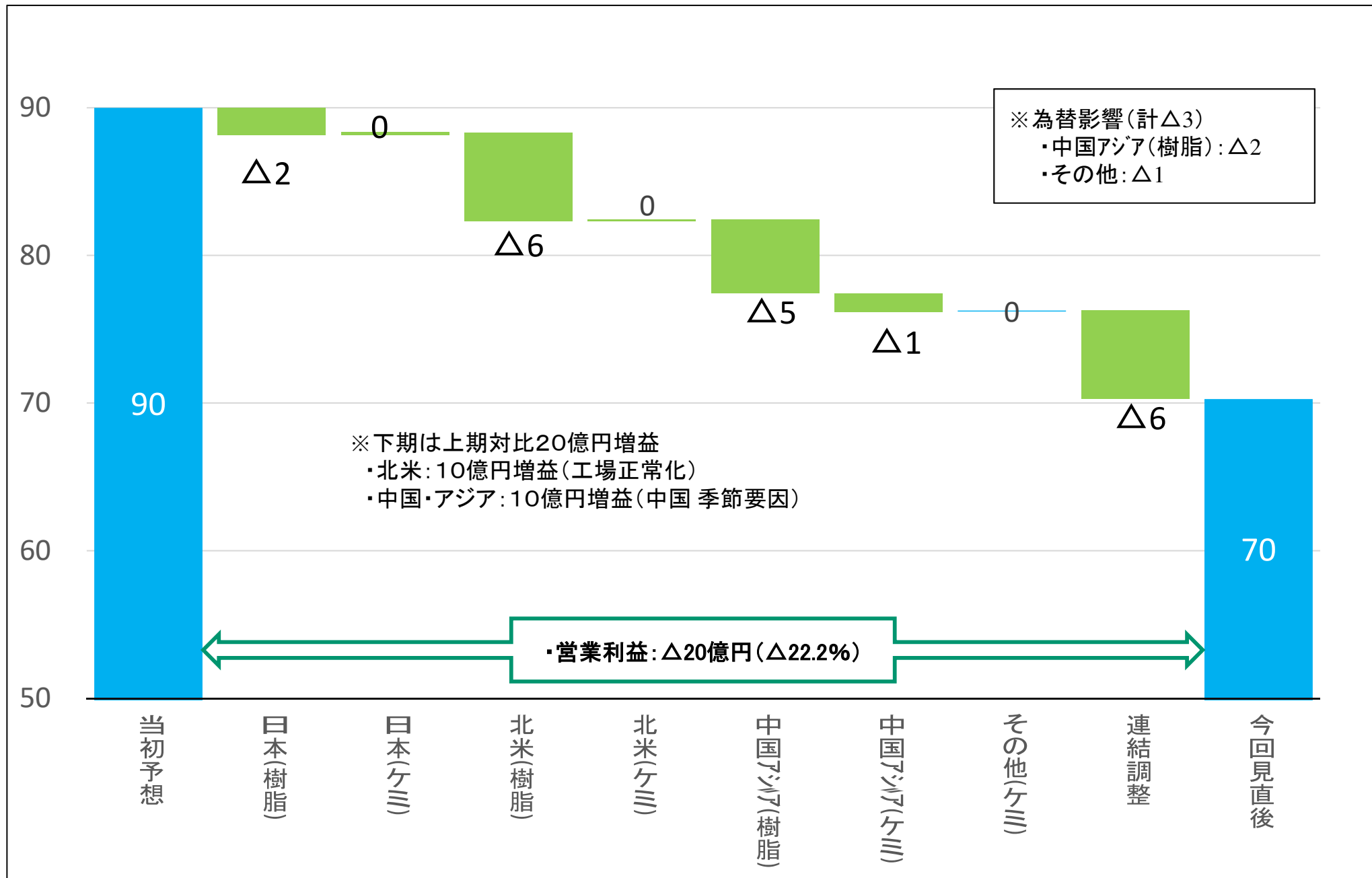
所在地別・セグメント別 売上 増減要因

(億円)



所在地別・セグメント別 営業利益 増減要因

(億円)



第3四半期以降の業績改善のための取り組み

<樹脂加工製品事業>

- ・原価低減、品質向上による競争力強化
- ・塗装・成形の良品率引上げにより、材料費・労務費(時間外・休日出勤)・光熱費等を削減(特に北米)
- ・生産変動に応じて適正人員に調整、生産の自動化・効率化、内製化率を上げ付加価値生産性を高める(北米、中国はじめ全社)
- ・昨年秋に発生した米国工場の生産混乱は収束し、生産・出荷共に現在は正常化
収益面の改善と再発防止のため、日本人によるマネジメントを強化
- ・既存顧客以外の販路拡大により1台当たり売上減少(製品構成)へ対応

<ケミカル事業>

- ・中国・アジアへ新たな経営資源投入し拡販(中国内陸部・インド・タイ)
- ・メディカル・ヘルスケア事業戦略の一環として、高機能多層フィルム新工場建設

2020年3月期上期の取り組み

タイ工場 建屋を拡大、生産能力1.3倍へ

- ・2019年以降の更なる受注拡大に対応するため、2度目の工場拡張を実施



建坪	20,000㎡から28,800㎡に拡張
生産能力	1.3倍に拡大（予定）
設備投資額	約4億円
日程	2019年7月 契約 2020年3月 完成（予定）
特徴	・出荷エリアを拡張し、顧客へ直接納品することで、外部倉庫費用を削減 ・自動化拡大によるコスト競争力up

競争力強化に向けた自動化・省人化

- ・成型・塗装・組立の各工程を細分化し、それぞれの工程で自動化ノウハウを蓄積
- ・軽・小型車用の部品でも収益を確保できるよう、多台持ち、多工程持ちを拡大

【導入事例の一部】



成型

ゲートカット機
(端末処理)

導入効果

- ・工数削減▲7秒
- ・台持ち拡大による作業工数抑制

組立

多軸汎用CLIP
挿入・ビス締め機

導入効果

- ・省人化▲1名
- ・品質の安定
- ・サイクル短縮

